

奈良市民「情報リテラシー講座」 ～安全！安心！インターネット～

の報告

2006年10月3日

NPO 法人電子自治体アドバイザークラブ

この度、奈良市生涯学習財団において、一般市民向けの「情報リテラシー講座」(情報セキュリティに関する研修会)を行いました。その報告をいたします。

日時:10月3日 13:30～15:30 奈良市西部公民館

出席者:49名

講師:e-AAC 理事 坂田安男

情報リテラシー講座(情報セキュリティ研修会)の概要

1. 情報セキュリティについての一般知識 どんな危険があるか?
 - ・何故インターネットが危険か、ネットに接続したPCにどんな脅威があるか
 - ・コンピューターウイルス、スパイウェア、ボット、フィッシング、ワンクリック詐欺
 - ファイル交換ソフト(Winny)、DOS攻撃、デマ情報、無線LANの危険
2. これらの危険から自分(のPC)をいかにして守るか
 - ・Windows update、Windowsの脆弱性
 - ・ウイルス、スパイウェア対策ソフトの導入、更新
 - ・Window Update
 - ・ファイアーウォール
 - ・パスワード、生体認証
3. 個人情報保護法
4. 著作権
 - ・著作権、著作隣接権とは何を守るもの
 - ・著作権侵害とは、何をすると罪になる

所感

一般市民向けに、情報セキュリティについての一般知識、これらの危険から自分のPCをいかにして守るか、著作権などについて、より実践的で、ホームですぐに役立つ内容の講演でした。

出席者は、ほとんどがシニア層であり、シニア層へのパソコンの普及がうかがえる。市民レベルのパソコン教室の延長線上で、情報セキュリティの関心が非常に高く、従来の講演と違った新しい実践的な取組や説明が求められていた。講演終了後も、熱心な出席者数人が具体的に質問をしていた。時代を反映して、一般市民向けの情報セキュリティ講座の重要性を感じた。

出席者の情報セキュリティに関する知識や対策などを質問しながら、これらの出席者とのやり取りにて、市民の情報セキュリティに関する実態を把握することができた。

【研修会風景】

